

## バックロードホーン型スピーカーボックス

## BK108-Sol



このたびは当社製品をお買い上げいただき  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み  
いただきまして、正しくご使用ください。



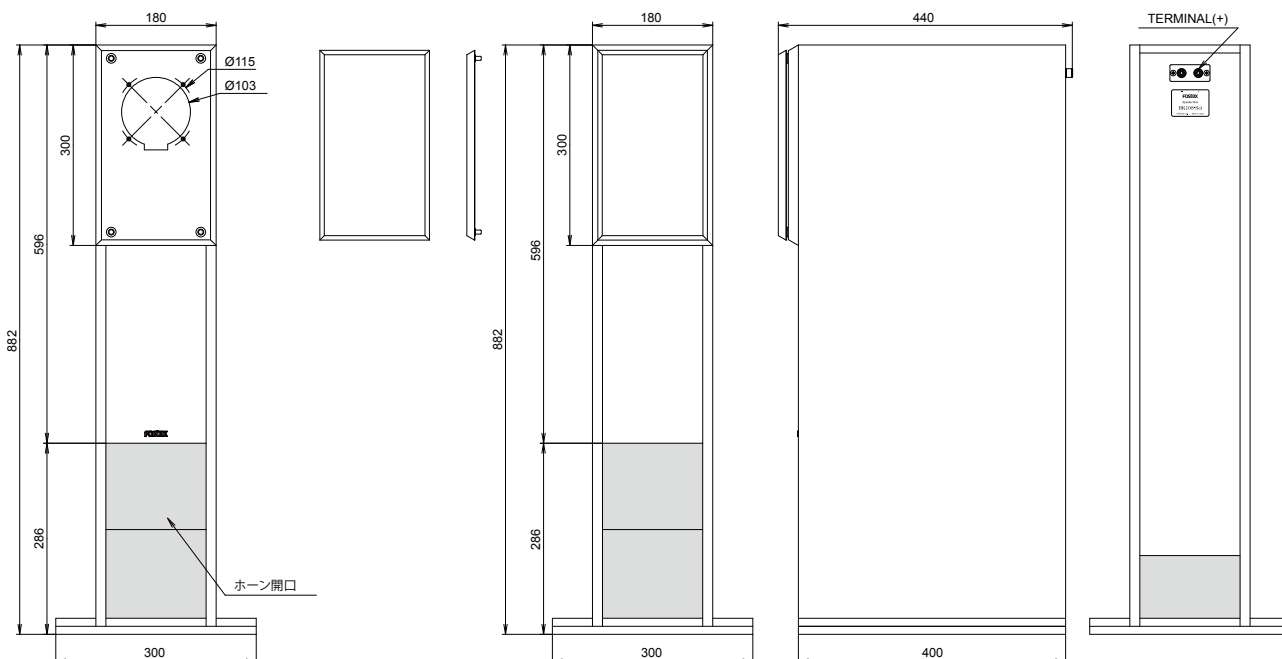
スピーカーユニット装着イメージ  
※スピーカーユニットは別売です。

BK108-Sol は、フルレンジスピーカー FE108-Sol の魅力ある音をより手軽にお楽しみ頂ける様に、ターミナル、内部配線コード、音響調整の吸音材等を組み込んだバックロードホーン型スピーカーボックスです。スピーカーユニットに内部配線を接続し、付属のネジで取り付けるだけの簡単な組立で、バックロードホーン型スピーカーボックスです。

## 主な特長

- 音響用に適したシナ合板を、適材適所の厚さ（バツフル板:15+12mm、側板:15mm、その他:12mm）に使用し、剛性の分布を整えることで豊かな響きと自然な余韻を実現しています。
- ターミナルは弊社「T150B 金メッキ銅ターミナル」、内部配線は弊社 SFC103 の芯線と同じ OFC 同芯 撚り線を採用し、スピーカーボックスの入口からスピーカーユニットまでの音質の劣化を防いでいます。
- 後ろ側の下部にスペースを作っております。錘等を入れて重心を下げることによる音質の安定化が可能ですので、お好みで調整して下さい。

## 外形寸法図／規格／周波数特性



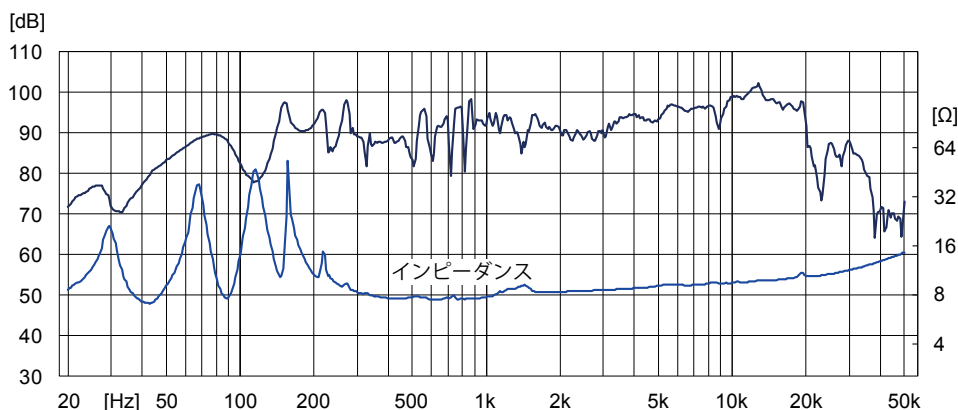
### ■仕様

- 形式 : バックロードホーン型  
外形寸法 : 300 (W) × 882 (H) × 440 (D) mm  
※グリル、ターミナル含む  
質量 : 11 kg  
ホーン長 : 220 cm  
空気室容積 : 2.2 L  
fx : 200 Hz  
材質 : シナ合板 / t15 (サブバツフル、側面)  
: シナ合板 / t12 (バツフル、天底裏面、内部ホーンロード)  
仕上げ : クリア塗装  
適合ユニット : FE108-Sol

### ■付属品

- 取り付け用ネジ類  
- キャップボルト × 4  
- ワッシャー × 4  
- Lレンチ × 1  
- 本取扱説明書 × 1  
- 愛用者カード × 1

### ■周波数特性 (FE108-Sol 装着時)



## 組み立て

### ■組み立て前の注意

#### ●スピーカーユニット

本製品にはスピーカーユニットは付属していません。本製品に適合するスピーカーユニットをご確認の上、別途お買い求めください。

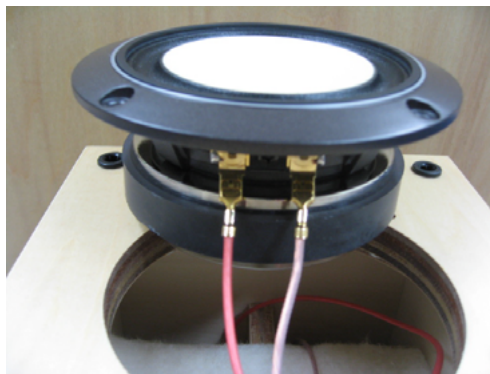
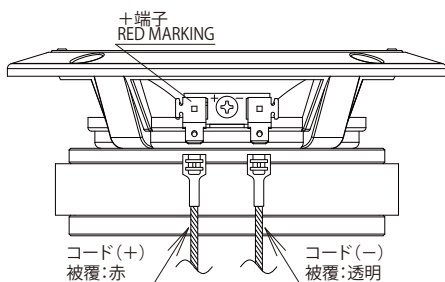
#### ●付属品の確認

スピーカーユニットを取り付けるために必要な M4 ネジ、ワッシャー、L レンチをご確認ください。

### ■組み立て

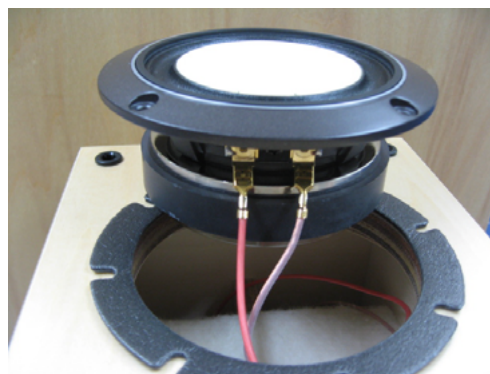
#### 1. 内部配線コードの接続

内部配線コードの端子をスピーカーユニットの端子に接続します。右図を参照し、極性を間違えないように接続してください。端子を接続する時は、スピーカーボックスの上にタオルなどを敷き、スピーカーユニットをその上に置くと、スピーカーボックスを傷付けずに安全に作業を行うことができます。



#### 2. パッキンの装着

スピーカーユニットに付属しているパッキンをスピーカーユニットフレームの上から裏側に通します。パッキンは、スピーカーボックスとスピーカーユニットを密着させ気密性を保つために必要です。パッキンを使用しないと、隙間から空気が漏れてスピーカーボックス本来の性能を発揮することが出来ませんので、必ず装着してください。



#### 3. スピーカーユニットの取り付け

フレームとパッキンを合わせた状態で、スピーカーボックスのバッフル穴にスピーカーユニットを入れます。この時、フレームの取り付け穴とスピーカーボックスのネジ穴を合わせてください。

付属のネジとワッシャーを左図のように入れ、締めます。まず指で4本全てを予備締めします。

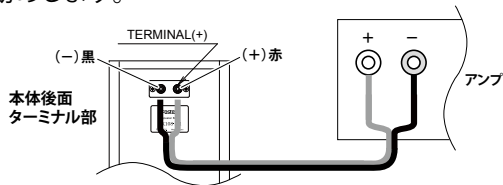


次に、L レンチで写真の順番通りに対角に締めていき、最後に一番目に締めたネジを締めると、均一に固定する事が出来ます。



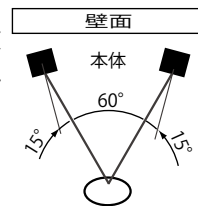
## 接続方法

ターミナルの極性表示(赤+,黒-)にしたがって、アンプとスピーカーを結線してください。接続するケーブルには SFC103 など出来るだけ高品位なスピーカーケーブルをご使用されることをお勧めします。



## 設置方法

スピーカーは、出来るだけしっかりした場所に設置することをお勧めします。スピーカーは正面に向けて設置して、リスニングポイントで約 15°の角度を付けると良いでしょう。厳密に高さを調整する必要はありませんが、スピーカーユニットの位置を耳の高さに合わせると、最も適した高さとなります。



## 日常のお手入れ

スピーカーボックスに汚れなどが付いた際には、乾いた柔らかい布で表面を拭いてください。誤って水などが付いた場合、乾いた布で素早く拭き取ってください。

## 安全上のご注意

ご使用前に、必ず本書「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。本書は、お買い上げいただいたフォステクス製品を安全にご使用いただくために必要な「禁止事項」、「注意事項」、「強制事項」についてまとめて記載してあります。あなたや他の人々へ与える危害や財産などへの損害を未然に防止するため、本書に記載されている事項をお守りいただくものですので、大切に保管し、いつでもお読みいただける場所に置くようにしてください。

	△記号は、注意しなければならない内容(警告を含む)を示しています。具体的な注意内容は△の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「感電注意」を示しています。
	⊘記号は、禁止内容(してはならないこと)を示しています。具体的な禁止内容は⊘の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「分解禁止」を示しています。
	●記号は、強制内容(必ずすること)を示しています。具体的な強制内容は●の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」を示しています。

### 警告



機器本体に直接水がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。特に屋外での使用(雨天、降雪時、海岸、水辺)にはご注意ください。



電源プラグを抜く

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本製品に接続しているアンプの電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 注意



接続注意

本機に他のオーディオ機器を接続する場合、接続する機器の取扱説明書をよく読み、必ず電源を切り説明に従って接続してください。また、接続するコードは指定されたものを使用してください。



禁止

油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



スピーカーやホーンを取り付ける場合、必ず付属のネジで確実に固定してください。落下によるけがや故障の原因となることがあります。



過大入力注意

過大入力を加えないでください。火災や故障の原因となることがあります。本製品の規格入力でご使用ください。



取扱説明書は必ず読み、注意事項および使用方法を厳守してください。安全性および性能を確保するために必要です。

**Fostex**  
フォステクス カンパニー

フォステクス ホームページ <http://www.fostex.jp>  
FOSTEX e-shop <http://www.store.fostex.jp>